

この取扱説明書を良く読んでご使用ください。取扱説明書は保管して下さい。
本器は理化学機器です。一般の方はご使用できません。本器は水を恒温状態に保つための装置です。バス内の温度が均一になるよう、マグネチックスターラーでかきまぜながら使用するとバス内の温度が安定します。攪拌装置は内蔵していません。空焚防止装置も内蔵していません。

仕 様

バス	SUS303, 内寸φ240×H130mm(70%=4.1L)
ヒーター	AC100V, 500W 銅ニッケルメッキ製
温度調整方式	サーミスター, 比例制御, ダイアル設定
使用温度範囲	(室温+5℃) ~ 80℃ (目盛 30~90℃)
温度精度	±0.5℃
電源	AC100V, 50/60Hz, 5A 三芯接地プラグ付電源コード
使用環境	温度 5 ~ 35℃ 湿度 80%
外寸法・重量	W254×D300×H131mm・1.5kg
付属品	火傷保護シート シリコン製×2

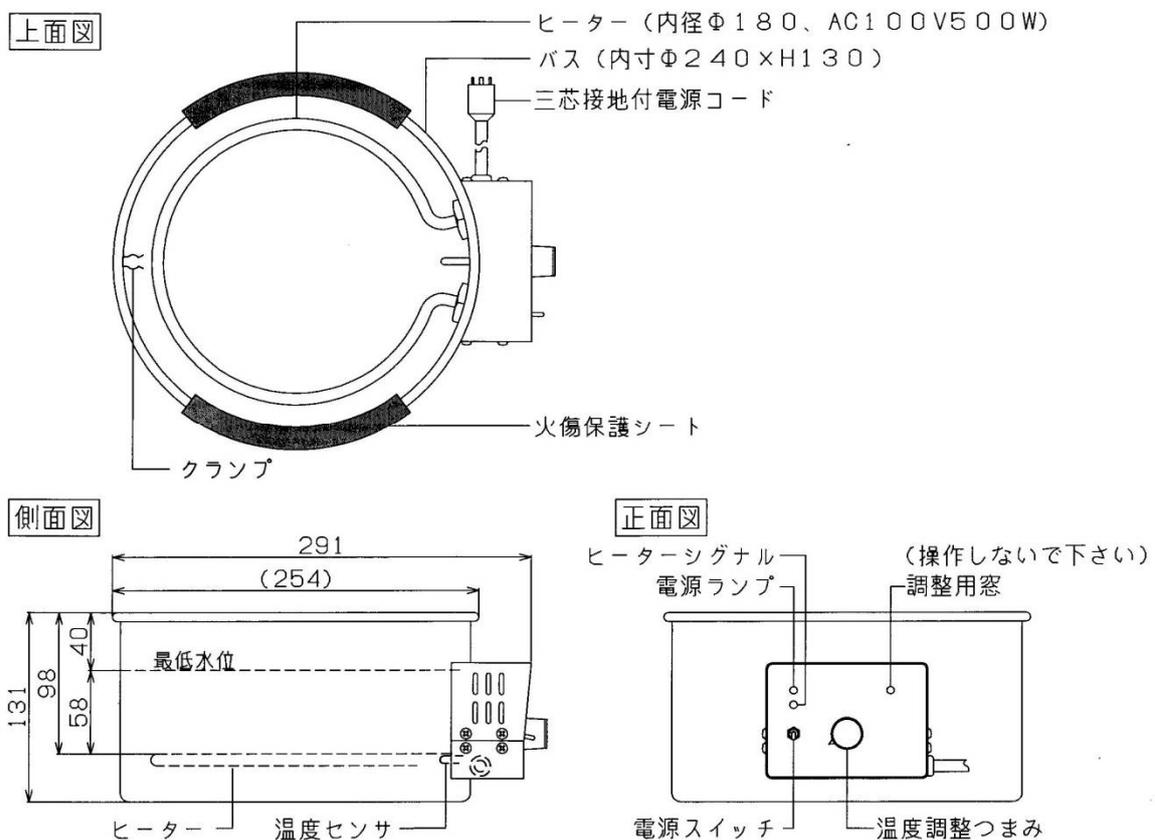
安全のための注意事項

- 防爆型ではありません。引火性、爆発性のあるガスの雰囲気中では、絶対に使用しないでください。
- 水専用のバスです。水以外の液体を使用すると危険です。
- 電源は AC100V, 6A 以上取れる三芯接地付コンセントに直接差し込んでください。三芯接地付コンセントがない場合も、必ずアースを接続してください。
- 接地アダプターの使用はプラグの緩み等による過電流で火災等、事故の原因になる場合がありますのでご注意ください。
- 水平で落下しない場所に設置してください。周辺にある機器に水蒸気が当たらない場所で使用してください。
- 空焚きをしないでください。最低 70%水を入れて使用してください。
- ヒーターは必ず水没している状態で使用してください。空焚きをするとヒーターは異常発熱し、火傷や火災の原因になります。
- 電源コードを束ねたまま使用しないでください。過熱、火災の原因になります。
- ヒーターに直接手を触れると火傷します。手を触れないでください。
- 電装部に水がかからないようにしてください。腐食、電気系統の故障、特に漏電の原因となります。
- バスのふちに触って火傷をしないよう注意してください。火傷保護シートを使用すると火傷の可能性を減らすことができます。
- 火傷保護シートを使用する場合、保護シートを持ってバスを持ち上げないでください
- スターラーで攪拌しながら使用するときは、バスの底に直接回転子がふれると穴があく可能性があります。底面に直接回転子がふれないようステンレスの板やガラス板で保護してください。
- 使用環境範囲を越えて使用しますと、動作不良、故障の原因となります。
- 実験終了後必ず電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて保管してください。
- 雷が鳴り始めたら、電源スイッチ、元電源を切ってください。
- 装置を分解・改造しないでください。漏電、感電、異常動作、火災等、事故の原因になります。

使用方法

1. 火傷保護シートを必要に応じて取り付けます。
2. バスに水を最低 70% 入れます。(4.1L)
3. 電源スイッチの OFF を確認して三芯接地付コンセントに電源プラグを差し込みます。
4. 温度調整つまみをまわして温度を設定します。
5. 必要に応じて温度計クランプにお手持ちの温度計を差し込みます。
6. 電源スイッチを ON にします。電源ランプとヒーターシグナルが点灯し、温調点に達するとヒーターシグナルは点滅します。
7. 使用後必ず電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて保管してください。
8. 攪拌装置は内蔵していません。バス内の温度が均一になるよう、スターラー等でかきまぜながら使用するとバス内の温度が安定します。
9. 冬期、水温の低い時は、最初に希望温度に近いお湯を入れると、効率よく実験ができます。
10. 気温、水量等によって到達温度は変わります。

機能説明図



保証・故障・修理

1. 通常の使用における故障については、お買い上げ後一年間無償保証します。
印刷の汚れ、剥がれ、外装の傷等、また、落下による破損、消耗品の交換等については、保証いたしかねますのでご了承ください。
2. 使用中、異常が発生した場合、直ちに運転を中止し、販売店にご連絡ください。
製造番号もあわせてご連絡ください。